

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.8.25 No. 174 連絡先 FAX 042-555-1911



世界一危険 オスプレイは米にもって帰れ 横田基地配備ダメ！！



8月18日(日)は、第53回の横田座り込みでした。猛暑のなか100名近い参加者でした。

2時間の中で20名が活動報告や決意を語り、座り込み参加者一同で、「CV22 オスプレイの、横田基地をはじめ、日本への配備の検討を直ちに止めることを日米政府に要求する決議」を行いました。(写真：新日本婦人の会都本部の皆さん)

8月19日～23日 横田基地 C-130H 編隊飛行訓練やパラシュート訓練

防衛省・北関東防衛局から周辺自治体へ、8月19日(月)から8月23日(金)まで、横田基地所属のC-130による編隊飛行訓練とパラシュート訓練が実施されると、情報提供がありました。編隊飛行訓練…19日は午後3時から編隊飛行訓練の予定でしたが、当日、午後1時から

に変更されました。

午後1時から8機整列し、飛んだのは7機でした。

午後3時には7機整列し、飛んだのは6機でした。

編隊飛行では、東富士演習場等に行き、横田基地では、急旋回、パラシュート投下等を行いました。栃木平和委員会が監視行動を開始、10件の情報が寄せられました。

パラシュート降下訓練…21日、午後1時30分ごろ3機が整列し編隊飛行を開始。午後2時30分ごろ1回目のパラシュート降下。1番機が5人、2番機が5人、3番機が3人でした。2回目は、1番機が4人、2番機は5人、3番機は降下無しでした。3時過ぎ3機とも着陸。

8月22日、午前9時ごろ3機編隊で出発。10時25分から第1回目のパラシュート降下、1番機が7人、2番機が7人、3番機が6人、合計20人でした。(左写真)。

11時頃から2回目のパラシュート降下で、3機からそれぞれ、6人降下、計18人です。パラシュート降下した部隊について横田基地はノーコメントです。が沖縄の陸軍第1特殊作戦群(グリーンベレー)と分かりました。

フェンスの外にパラシュートが落下…22日のパラシュート降下訓練中、1人がIHI瑞穂工場の敷地内に降下。ところが米軍横田基地は、そんなことはない、と否定しているそうです。横田基地周辺基地対策連絡会は事前に「基地の外に影響を及ぼさないよう十分な配慮と安全対策に万全を期すよう」申し入れています。どうなりますか。



今年の横田基地 飛行回数は増加 航空総隊に空将補増える (No. 174 の裏面)

時間帯	2012 1~6月	2013 1~6月	増減
0~1	0	1	+ 1
1~2	3	0	- 3
2~3	1	1	0
3~4	0	0	0
4~5	0	0	0
5~6	2	0	- 2
6~7	59	26	- 33
7~8	52	49	- 3
8~9	80	57	- 23
9~10	174	173	- 1
10~11	323	395	+ 72
11~12	339	311	- 28
12~13	250	228	- 22
13~14	431	297	- 134
14~15	290	385	+ 95
15~16	222	368	+ 146
16~17	172	318	+ 146
17~18	285	326	+ 41
18~19	304	398	+ 94
19~20	297	397	+ 100
20~21	350	459	+ 109
21~22	351	341	- 10
22~23	10	23	+ 13
23~24	3	1	- 2
計	3998	4554	+ 556

6ヶ月で556回飛行回数増、夜のくつろぎの時間帯は303回増

福生市による飛行回数調査（誘導灯付近・横田基地の南側）では、今年1～6月と昨年1～6月を比べて、全体の飛行回数が3998回から4554回になり、556回増加しています。特に、夜6時から9時の3時間の家族団らんの時間帯では、951回から1254回へ、303回と大幅に増えています。夜間の飛行に批判の声が上がっています。

航空自衛隊航空救難団が航空総隊の隷下に

航空自衛隊航空救難団は、今年3月26日、航空支援集団から航空総隊へ隷属替えになりました。この時点の航空救難団司令の石野貢三空将補は「新たなステージで戦闘機部隊と一体の脅威下の任務も」と語っていました。昨日、航空救難団のホームページを見たら、航空救難団司令は杉山政樹空将補に変わっていました。

救難団の任務は、1 救難機による事故航空機の搭乗員の捜索、救助、2 保有機による人員及び装備品等の空中輸送、3 教育・訓練、4 その他、ですが、航空総隊隷下となって、「新たなステージで戦闘機部隊と一体の脅威下の任務も」ということに。

救難団の組織は、団司令、副司令と団司令部があり、そのもとに全国に10個救難隊と4個ヘリ空隊の飛行隊、整備群、救難教育隊があります。隷属替えになってもハードウェアの面での大きな変化はありませんが、RCC (Rescue Co-ordination Center) 機能が、航空総隊司令部に移ったということのようです。

航空総隊司令部に空将補「戦術官」を新設

週刊 Wing (8月7日付)によると、防衛省は8月1日付けで航空自衛隊の組織改編を実施し、航空総隊司令部（横田基地）に空将補配置の「戦術官」を新設しました。

航空総隊司令部に新設された「航空総隊戦術官」のポストは、「航空総隊の部隊の運用に係る戦術につき航空総隊司令官を助ける」ことが任務で空将補が充てられます。地位としては、航空総隊副司令官と幕僚長の間です。初代の戦術官には情報本部の画像・地理部長を務めていた平松弘司1等空佐が任命されました。近日中に空将補に昇任する見込みだそうです。

「村八分」ギタリスト 山口富士夫さんが死去 1カ月前に突き飛ばされ頭部強打

8月16日、「ロックバンド、村八分などで活躍したギタリスト、山口富士夫さんが14日午後9時30分、脳挫傷のため東京・福生市の病院で亡くなった。64歳だった。」と有名人の訃報記事。

記事は「警視庁福生署によると、7月14日夜、JR福生駅のタクシー乗り場で酔っぱらいともみ合いになった米国人の男(32)に近づいたところを突き飛ばされ、後頭部を強打した。一時意識不明状態だったが、意識を取り戻し、全治3週間と診断されていた。男は傷害容疑で逮捕、起訴された。同署は山口さんを司法解剖し、けがと死因との関係性を調べる方針。」と続きます。

米軍属の息子は一方的に暴行し、父親も他の男性を殴っていました。正当な裁判を求めたい。

